

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	47	25	17	5
坂井	坂井市、あわら市	10	7	3	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	14	4	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	19	10	5	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H28 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		45.3	42.8	46.9	46.4	46.1	44.4	▲1.7
家計動向関連		44.6	41.3	47.8	49.5	48.8	45.5	▲3.3
小売		46.1	37.9	45.2	46.1	51.6	44.0	▲7.6
飲食		12.5	50.0	75.0	83.3	87.5	58.3	▲29.2
サービス		45.8	50.0	50.0	50.0	32.5	45.8	+13.3
企業動向関連		43.5	41.1	45.3	41.1	42.6	40.2	▲2.4
製造業		39.3	36.9	40.9	38.0	42.7	38.0	▲4.7
非製造業		52.5	50.0	55.0	50.0	42.5	45.0	+2.5
雇用関連		51.9	51.9	48.1	47.9	46.2	51.9	+5.7

○回答別構成比

	年 月	H28 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなっている		0.0%	0.0%	1.1%	3.3%	3.3%	0.0%	▲3.3
やや良くなっている		13.3%	11.1%	13.3%	11.1%	13.3%	12.2%	▲1.1
変わらない		58.9%	53.3%	61.1%	56.7%	52.2%	58.9%	+6.7
やや悪くなっている		23.3%	31.1%	21.1%	25.6%	26.7%	23.3%	▲3.4
悪くなっている		4.4%	4.4%	3.3%	3.3%	4.4%	5.6%	+1.2

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H28 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		47.8	46.4	45.8	46.7	47.8	47.8	+0.0
家計動向関連		46.2	46.2	47.8	47.9	47.7	49.4	+1.7
小売		46.9	43.9	47.6	47.7	47.6	45.7	▲1.9
飲食		50.0	87.5	75.0	66.7	50.0	66.7	+16.7
サービス		43.8	45.5	43.8	43.8	47.5	54.2	+6.7
企業動向関連		50.8	48.4	43.8	44.4	49.3	45.5	▲3.8
製造業		46.4	44.0	43.2	45.7	51.0	47.8	▲3.2
非製造業		60.0	57.5	43.8	40.6	45.0	40.0	▲5.0
雇用関連		46.2	42.3	44.2	47.9	44.2	48.1	+3.9

○回答別構成比

	年 月	H28 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなる		2.2%	2.2%	1.1%	2.2%	0.0%	1.1%	+1.1
やや良くなる		14.4%	16.7%	13.3%	13.3%	14.4%	17.8%	+3.4
変わらない		56.7%	48.9%	58.9%	54.4%	63.3%	54.4%	▲8.9
やや悪くなる		25.6%	28.9%	21.1%	28.9%	21.1%	24.4%	+3.3
悪くなる		1.1%	3.3%	5.6%	1.1%	1.1%	2.2%	+1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由		
②やや良くなっている	家計 動向	坂井	小売店	地元農産物が多くなり、客数が増えた為。		
		嶺南	レストラン	観光シーズン中のため客足が増加している。		
		嶺南	大型小売店	気温が上がってきたため、エアコン・冷蔵庫が売れている。これからボーナス商戦が始まるため、売り上げ増が見込める。		
		嶺南	百貨店、ショッピングセンター	夏需要に期待したい。エルニーニョ関連で今夏は猛暑予想となっており、盛夏商材の売り込みに力点を置く。		
		福井	スポーツクラブ	客数の増加。		
	企業 動向	丹南	建設業	受注量が増えている。		
		福井	不動産	展示場への来場者数が3ヶ月前に比べれば増加傾向にある。但し、前年同時期と比べるとほぼ例年並みという感触である。		
③変わらない	家計 動向	福井	小売店	景気の変化を感じる要素が見当たらない。		
		福井	百貨店、ショッピングセンター	駅前「ハピリン」がオープンするが、開業時ほどの動員が見られず。		
		嶺南	スーパー	供給、客数共に前年並み。		
		福井	ビジネスホテル	インバウンド予約の入込が前年同時期と比較して落ち込んでいる。		
	企業 動向	坂井	繊維	良いものもあれば悪いものもある。		
		丹南	繊維	消費税増税延期で売り上げは横バイである。		
		丹南	電気機械	主要顧客の需要が不透明な状況になっている。		
		福井	金融機関	個人消費は、需要先食いの影響が残り、家具・家電、乗用車では前年割れの状況が続いているが、全体では緩やかな持ち直しの傾向が見られる。		
		④やや悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	中小企業の設備投資の減少(機器受注減)などが見られ消費者等も節約傾向にある。
				福井	小売店	節約ムードが高まり、買い物を控えている。
奥越	小売店			売上が減少している。		
福井	百貨店、ショッピングセンター			5月売上客数は前年割れ。		
福井	観光物産店			梅雨に入り、以前に比べて売上げが低下している。夏前の落ちついた期間に突入した。		
坂井	レストラン			暑さ(天気)のせいで、顧客の入りバラバラ。いい日もあれば入ってこない悪い日もある。		
企業 動向	福井	繊維	アパレル、問屋等が動いていない。市場が冷えている。			
	丹南	眼鏡	受注量は3ヶ月前と比べてやや減少気味である。			
	丹南	伝統工芸	受注量の減少。			
	坂井	IT関連	物件数の減少、受注利益額の低下。			
⑤悪くなっている	家計 動向	福井	旅行代理店	熊本地震の影響で、客数に減少が見られる。		
雇用	福井	就職情報誌	建設会社において、公共事業の仕事がなくなってきたと聞いている。			

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由		
②やや良くなる	家計 動向	嶺南	商店街	海水浴シーズンを控えており、「まちの駅」に期待している。旭座（移築された芝居小屋）を利用した売り出しの検討もしていく。		
		坂井	小売店	夏休みに入り県外客の増加が見込まれる。		
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	今年は夏の気温が高くなると予想されているため季節関連消費が伸びるのではないかと。		
		福井	観光物産店	夏休みに入り家族づれや観光客需要が期待できる。		
		坂井	観光・レジャー施設	今夏、新アトラクションを導入するにあたり、1年前からPR活動をしてきた効果もあってか、旅行者によると、今夏の商品プランのイメージが良く、予約増につながっているという。過去の統計データや気候のフォローも相まって、客数が伸びると予想している。		
	企業 動向	福井	一般機械	6月に比べると9月以降は若干受注が増加する見通し。ただし、先々は不透明。		
		丹南	電気機械	スマホ市場の回復、新モデルの立ち上がりにより、電子部品の需要が見込まれる。		
		福井	化学・プラスチック	秋の需要期になってくるため。		
		嶺南	コンクリート製品	現在より公共事業が発注されるから。		
		③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	引き続き個人消費の伸び悩み傾向が続くと思われる。
福井	百貨店、ショッピングセンター			駅前の新規客層は増えているが、購買に至るか懸念。		
福井	百貨店、ショッピングセンター			消費税の増税延期により消費動向は大きく変わらない。		
福井	自動車販売・整備			好材料が見当たらない。		
嶺南	大型小売店			エアコンや冷蔵庫などの季節要素が減少し、売り上げは伸び悩み見込み。		
福井	旅行代理店			地震の影響が継続する。		
企業 動向	奥越		繊維	為替が円高に振れていることもあり、輸出関連の受注の動向が心配だ。とにかく先行き不透明感が強い。		
	坂井		繊維	取引先の様子から。		
	福井		化学・プラスチック	受注環境に大きな変化はない。		
	福井		IT関連	受注見通しから判断。		
	④やや悪くなる		家計 動向	嶺南	商店街	中国経済も減少傾向にあり、今後マーケットも自ずと変化を迎える事になる。
				福井	小売店	消費税増税の延期発表で、世の中の景気が停滞していることが再認識され消費行動が節約傾向になる。
				坂井	スーパー	円高・株安、節約志向の強まり、将来への不安などから売上げは減少する。
坂井		レストラン		暑くなると、客の入りもかなり悪くなる（ランチ時）。夜も平日は悪くなる。		
企業 動向		奥越	電気機械	為替の影響により変化している。		
		福井	眼鏡	九州のお得意様の注文が入らない。		
	丹南	建設業	消費税増税の延期による。			
	丹南	鉄鋼	8月の受注が少ない。			
⑤悪くなっている	家計 動向	福井	商店街	ハピリン効果を期待しているが、（駅前への集客）特に大きなイベントの仕掛がなく、3か月前との比較で判断。		
	企業 動向	嶺南	コンビニエンスストア	為替が円高傾向のため海外からの受注減少が懸念される。		

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)